



マイペースな妻“ハルさん”と超真面目な夫“ツレ”に

人生の危機！？

ほんわかハッピーで、ホロっと泣ける、珠玉のラブストーリーが誕生しました。

ウツ？



今日もツレはカメフトン。
はにかみそんなにつらいの？



イグ”はツレのいやしだね。



お父さん、お母さん
いつもありがとうございます。



あせらなくていいからね。



新しい家族がふえた！



ツレがうつになりました…
仕事下さい！！



描きたいことは
こんな近くにあったんだ！



晴れたり曇ったり
泣き笑いの人生だ。』



監督:佐々部清 脚本:青島 武 音楽:加羽沢美濃

原作:細川貂々「ツレがうつになりました」「その後のツレがうつになりました」「イグアナの嫁」(幻冬舎文庫)

製作:黒澤清、木下直哉、重村博文、平城隆司、福原英行、久保忠佳 企画:達藤茂行、日達長夫 プロデューサー:国松達也、白井正明 アソシエイトプロデューサー:柳迫成彦
ラインプロデューサー:望月政雄 キャスティング:杉野剛 撮影:浜田毅 美術:若松孝市 照明:守利賀一 チーフデザイナー:小林久之 装飾:柳澤武

アニメーション制作:トムス・フォト 録音:柳屋文彦 整音:室蔵剛 スクリプター:山下千鶴 編集:大畑英亮 助監督:高橋正弥 製作担当:岩下真司、松田憲一良

音楽プロデューサー:津島玄一 宣伝プロデューサー:是木良介

製作:「ツレがうつになりました」製作委員会(東映、木下グループ、キングレコード、テレビ朝日、東映ビデオ、ギャンピット、朝日放送、IVSテレビ制作、シネマーム、幻冬舎)

製作プロダクション:セントラル・アーツ、シネマーム 配給:東映▲ 助成:文化芸術振興費補助金 ©2011「ツレがうつになりました」製作委員会

* 10/8 (sat) ROADSHOW *

この秋いっぱい泣いて、たくさん笑おう。

宮崎あおい



堺 雅人

ツレがうつになりました。

健やかなるときも、
病めるとともに、
キミと一緒にいたい。



吹越 满 津田寛治・犬塚 弘・梅沢富美男 田山涼成 / 大杉 漣 余貴美子

* 実話から生まれた大人気コミックエッセイ、待望の映画化! *

日本映画界をリードする演技派俳優、

宮崎あおいと堺雅人が夫婦役を演じるのは、大河ドラマ「篤姫」に続いて2度目。

役者としての相性が良いというふたりが新たに挑んだ“ツレうつ”夫婦像とは?

そこから垣間見たふたりの俳優像、伝えたいメッセージとは――。

―― 心から寄りかかれるベストパートナー

宮崎 堀さんは、昔から一緒にいたような感覚というか、「この人だったら大丈夫!」と思っているので、また一緒にできるのがすごく楽しみでした。

堀 役者として相性がよくて、気が合うんですよね。僕も宮崎さんの包容力に助けられました。そこにいるだけで安心できる、圧倒的な存在感のある女優さんです。

宮崎 撮影の待ち時間も、お互いに本を読んだりして、私は堀さんの横にただ座っているというのがすごく心地よかったです。

―― 俳優に必要なのは直球? 変化球?

宮崎 堀さんはその場の感情を大事にしつつも客観的に感情を伝



人だと思うんです! それから、何か分からぬことがあるとすぐに調べて自分の知識としてインプットする、そういう勉強家なところも尊敬しています!

―― 堀雅人のこだわりから生まれる名演

堀 うつ病には様々な症状があって、未だにすべては解明されていない病気。うつ病と一言では括れないからこそ、典型的なうつ病の症状を形として真似ることだけはしたくなくて。たとえば、突然泣くというシーンでもただ泣くのではなく、ちゃんと泣く材料を自分の中に見つけてから泣きたいと思ったんです。たとえそのことで中途半端な演技になったとしても。

―― 宮崎あおいが惚れたハルさん的人間力

宮崎 人間くさくていいなと思いました。ツレを支えながらも、支える方にも葛藤があって苦労があるのは当たり前。そういう自分の本音をツレにぶつけてしまうところが、人間くさくて素敵。きれい事で収まらないところをちゃんと描いている作品なんですね。

―― この夫婦の物語は、きっと誰もが共感する

宮崎 クスッと笑えるところが10~15分に一回くらいあって、あたりがたりな言葉になっちゃいますが、面白かったです。

堀 ハルさんとツレは、たくさんの人とつながっていて、たくさんの人に見守られている。改めて、豊かな作品だったんだなと感じました。

宮崎 ほんとに。周りの人たちに見守られながら、ふたり一緒にうつ病と向き合っている姿からは、病気を治そうとすることだけが正解じゃないと教えられた気がします。

堀 自分たちのルールを作って、自分たちで責任をとっていく。そういう小さな積み重ねの連続でしか、僕らの生活は前に進んでいかないものだと実感していく……。

宮崎 それはどんな人にも当てはまるんですよね。だからこの映画は、うつ病を知らない人でも共感できると思うんです。そして、今現在うつ病と向き合っている人にとっては、こういう支え方もあるんだ、こういう解決の仕方もあるんだと感じてもらえたなら嬉しいです。



ツレがうつになりました。

著者自身の実体験を描いた細川貂々(ほそかわてんてん)さんのベストセラーコミックエッセイ「ツレがうつになりました。」(幻冬舎文庫)が待望の映画化!

ともすれば暗くなりがちなうつ病という題材を明るくコミカルに綴った原作の良さをそのまま映画に取り入れ、型にはまらない夫婦のあり方をユーモアたっぷりに描いています。

“ハルさん”と“ツレ”夫婦の<がんばらない!>過ごし方には、平凡な毎日からさやかな幸せを感じるヒントがたくさんつまっています。それは、ふたりのように今現在うつ病と闘っている人はもちろん、仕事に追われる日々を送っている人、将来に不安を抱えている人……様々な悩みを抱えているすべての日本人を元気にしてくれるはずです。

原作に惚れ込みメガホンを取ったのは、日本アカデミー賞に輝く『陽はまた昇る』『半落ち』の佐々部清監督。

宮崎あおい×堀雅人を始めとする魅力的なキャストたちと、日本人の生き方や家族のあり方など人間ドラマを丁寧に描き出すことに長けた佐々部監督によって、実話をもとにしたある一組の夫婦の物語は、珠玉のラブストーリーとして今秋スクリーンに誕生します。

Introduction